



横浜子どもスポーツ基金「B3横浜エクセレンスキッズスペース運営」「チャリティーバスケットボールフェスティバル(遊び場)」報告

日 時	令和6年4月6日・7日(エクセレンス)、8月3日(チャリティバスケ)
場 所	横浜武道館
参加者 (うち障害児)	110名 ( 80 名)
活動写真・内容など	<p>キッズスペースをいくつかのエリアに分け、障がいがあってもなくても、小さいお子さんも、みんなで遊べるイベントを行いました。多くの親子があそび気にしてくださいました。</p> <p>①オリジナル応援グッズづくり/応援サンバイザーを制作 オリジナル応援グッズを使って今季最終戦を盛り上げよう！ オリジナル応援グッズを制作。試合中に被り、試合をさらに盛り上げよう！</p> <p>②ミニゴールを使ったバスケット体験 シュートをたくさん決めて景品をゲットしよう！ 床にテープを引き線によって得点を変える。ひとり3回行ないその得点によりオリジナルステッカーをゲットできる</p> <p>③『デジリハ』をつかってみんなでからだところを動かそう！ 壁に映像を映し、タッチする</p> <p>④ユニフォームのデザインをしてみよう！ バスケットボールチームのオリジナルユニフォームをデザインをしてみよう。 ユニフォーム台紙にぬり絵をし、選手やチームに応援メッセージを書いて設置のポストに投函。選手たちに想いを届けましょう！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
全体所感	<p>地域全体で医療的ケア児の居場所を作っていきたい。その想いでおれんじハウスは【医療的ケア児の居場所づくり】の取り組みを行ってきました。</p> <p>当日キッズスペースでは多くの子どもたちが集まり、バスケットボールを身近に感じながら、安心して過ごすことができました。特に障がいを持つ子どもたちが、バスケットボールの興奮や雰囲気や全身で体験できたことは、彼らにとって貴重な経験となったように感じられました。</p> <p>また、そのスペースではスタッフが常駐し、子どもたちが快適に過ごせるようにし、親御さんたちも、安心して子どもたちと一緒に時間を過ごすことができたと感じられました。</p> <p>今後もこのようなインクルーシブなアプローチが、さらに広がっていくことを期待しています。スポーツの楽しさや感動は、すべての子どもたちが享受できるものであり、その可能性を広げるための一歩となる取り組みであると感じました。</p> <p>今後もおれんじハウスでは障がい児やそのご家族も参加できるイベント作りを行っていきたくと思っています。</p>